



アートな麻布に魅せられて②⑧

洗練された高級感あふれる 麻布台の大きな我が家 東京アメリカンクラブ (Tokyo American Club)

ウィンターガーデンは入口左手にある。天井までの高さは11.5mもあり、広々と開放感に溢れている。

賑やかな六本木交差点を背に、外苑東通りを東京タワー方面へ。飯倉片町を過ぎると、左手は麻布台再開発真っ只中で、高層ビルの建設ラッシュ。右手のロシア大使館をぐるりと右折すると、東京アメリカンクラブ(以降クラブ)が現れる。麻布台の高台の地に瀟灑な建物が美しく映える。歴史ある会員制のクラブに特別にお邪魔させていただいた。

歴史が詰まった麻布台の地に立地

江戸時代、現在のロシア大使館とクラブにまたがる広大な大名屋敷(陸奥三春藩5万石秋田安房守の中屋敷)があった。明治に入ると、屋敷跡は麻布区狸穴町と命名される。のちの海軍大将となる川村純義伯爵(天保7(1836)~明治37(1904)年)が狸穴町4番地(約1万㎡)に洋館を建設したのは明治15(1882)年。海軍省、鹿鳴館等を設計したジョサイア・コンドル^{*1}が手がけた最初の個人住宅であった。明治34(1901)年、後の昭和天皇である迪宮親王が誕生すると、川村伯爵は養育主任を命じられ、生後70日から3歳になるまでここ狸穴の邸宅と沼津の別邸で親王を養育する^{*2}。明治37(1904)年に川村伯爵が没し、明治38(1905)年に日露戦争終結によりポーツマス条約が締結され、翌年南満洲鉄道株式会社(満鉄)が設立されると、この地に同社の東京支社が置かれる^{*3}。昭和29(1954)年、クラブはこの地を譲り受ける。

なお、隣接地には、明治7(1874)年に海軍気象台が、明治21(1886)年に東京天文台が設置され、三鷹に移転する大正14(1925)年まで、天体観測の拠点となった。現在の「日本経緯度原点」である。

日本近代史の足跡が多々残るこの土地に、令和の今、地上5階地下3階建のどっしりとしたクラブの建物がある。

シーザー・ペリが提案した 大きな我が家は“Home away from Home”

クラブの建物は大きく2つに分かれる。1つはビジネス仕様を含んだ大人向けのフォーマルサイド。会議室、図書室、ゲストルーム、ニューヨークボールルーム等、ビジネスやパーティ等が

催される。一方、ファミリーサイドには子どもも楽しめる、あらゆる施設が充実している。最上階にはプールがあり、フィットネジム、バスケットコート、スカッシュコート、ボウリング場等々、スポーツ、文化の交流の場として、その充実ぶりは、国内にある社交クラブの中でも群を抜く。お互いはアトリウムを介して繋がっている。驚くことに、同じ部屋はひとつもなく、用途に応じて見事にデザイン化されている。

クラブの設計を担当したのは、米国のシーザー・ペリ(César Pelli)(1926~2019)率いるペリ・クラーク アンド パートナーズ(Pelli Clarke & Partners)。ペリがイェール大学で建築学部の学部長を務めていたこともあり、大学のあるコネチカット州に本部を置いている。日本事務所(ペリ・クラーク アンド パートナーズ ジャパン株式会社)もあり、クラブ建築の際は現場のデザイン監修業務に参画している。施工は株式会社竹中工務店。

実はペリは日本においても著名な建築家である。世界中の超高層ビルの設計に数多く関わっているからだ。港区の愛宕グリーンヒルズ、大阪のあべのハルカス、新宿のNTT東日本本社、羽田空港第二ターミナルビル等はペリが手がけた。海外ではマレーシア、クアラルンプールのペトロナスツインタワー、香港の香港国際金融中心、ニューヨークのカーネギーホールタワー等、どれも世界中から注目を浴びている名建築だ。1991年には、AIA(アメリカ建築家協会)で、アメリカで最も影響力のある存命中の建築家10人の一人に選定されたほど。1995年にはAIAゴールドメダルも受賞、世界が認める建築家である。

高層建築を得意とする一方、中層階のクラブのデザインでは「大きな我が家」を謳って、建物全体に厚みを持たせながら、温かみのある空間を表現している。

会員制という縛りはあるが、本誌P4のような一般向けのイベントも企画されているので、是非覗いてみてほしい。



最上階にあるガラス張りの屋根のプール。



p4で紹介のコネクションズのバザーも、こちらのB2Fのニューヨークボールルーム(宴会場)で実施した。



一流ホテルにひけをとらない極上のホスピタリティで過ごせるゲストルーム。



6レーンあるボウリング場は、週末は家族連れで大賑わい。



狸穴の川村純義邸 1954年に東京アメリカンクラブに売却されるまで建物は現存していた。(『鹿鳴館の建築家 ジョサイア・コンドル展』図録増補改訂版)建築画報社、2009年より転載)コンドルが設計した2階建の洋風家屋。昭和天皇が3歳まで過ごされた。



*1「ザ・AZABU」20号 麻布の軌跡より
<https://www.city.minato.tokyo.jp/azabuchikusei/azabu/koho/documents/azabu-20.pdf>

*2「ザ・AZABU」45号 麻布の軌跡より
<https://www.city.minato.tokyo.jp/azabuchikusei/azabu/koho/documents/azabu45.pdf>

*3「ザ・AZABU」9号 麻布の軌跡より
https://www.city.minato.tokyo.jp/azabuchikusei/azabu/koho/documents/zaazabu_vol9.pdf

麻布びと

未来へ残したい麻布の声



櫻田神社 禰宜
佐々木義修さん (28歳)



櫻田神社の御朱印。右上には神紋「右三つ巴」が押印されている

本誌57号で紹介した港七福神巡りで健康、長寿の神様「**壽老神**」がいらっしゃる**櫻田神社***1。旧テレビ朝日通り沿い、西麻布にある由緒正しい神社です。ここで**禰宜***2を務める**義修**さんに、神職と共に今活動していること、街への思いを語っていただきました。



父の外界で神職の道を決心

平成6年(1994)生まれの義修さん、父、祖父と同じ、地元**筈小学校**を卒業、六本木中へ。エンジン、車などに興味があり、工業高校へ進学した。高校時代は**ホンダのスーパーカブのエンジン**で1ℓで何km走れるかを競う**Hondaエコマイレージチャレンジ**に夢中で、自動車部に所属。

「祖母からは、あなたが後継ぎ」と言われて育ったが、「父からは、30歳までは自分の責任

で好きな仕事をしていいと言われていました」。幼少の頃から父上の**宮司***3の姿を見ていたが、神事の手伝いをする事は無く、正月の忙しい時期の窓口くらいだった。「父としては、神職の資格を取るまでは手伝わせない考えだったのかと感じています」。

ところが高2の冬、父上が47歳の若さで他界。子どもは妹と長男の自分であり、自ずと決心がついたという。國學院大學神道文化学部へ進学、宮司の母上を手伝うようになる。大学1年で、「**直階**」*4の階位をとり、神職として奉仕。神職を務めて約10年、現在は「**明階**」*5の階位を取得している。これは宮司になれる資格だ。

勤め人をしながら、活動範囲を広げる

義修さんの行動範囲は実に広い。平日は東京都神社庁に勤務。週末、休日は、神職で講話や行事で忙しい。「家内もよく手伝ってくれて、助かっています」。

一方、港区支部のある宮司さんに「街の事がよく分かるから」と勧められたのをきっかけに、麻布第一分団の消防団員としても活動を始めた。櫻田神社周辺にも消防署は複数あるが、地震火災や水害などの大規模災害時の消防活動は、病院、商業施設など大きな建物が優先される。民家まで手が回らない可能性がある。街並みや道路の実態を知り、住民の状況(自分で動けない高齢者などがどこにお住まいかなど)を知っておく事は重要。地域の様子を把握することに努めたいと考えようになったという。

「消防操法の動作は無駄がなく、祭式作法と同じなんです」と、義修さん。動作は細かく決まっていて、一つ一つの動作を大切に。神職において、神事での「祭式作法」と通じるものがあると感じた。「それぞれ覚えるのは大変です(笑)」。

地域活動を通じて、街あつての神社

義修さんが大切にしているのが、人とのつながり。父上の突然の他界で戸惑う義修さんと母上を支えたのは、周囲の人々だった。神職の親戚、父の友人や先輩後輩。同じ支部の神職さん。「ずいぶん助けられ、励みになりました。若輩を受け入れてくださった町会の皆さんにも本当に感謝しています」。

神社同士の連携の大切さを肝に銘じながら、地域に寄り添う活動を心がけている義修さん。

消防団員の活動を通じて、防災設備のある公園との御縁ができた。そのなかで、有栖川宮記念公園事務所から街歩きガイドのオファーがあり、「西麻布、旧霞町めぐり」を実施、好評を得ている。街の歴史は、神社の記録や周囲からの伝聞もあるが、最も大切にしているのは文献(港区史等)をとことん読む



長い時代を経て、周囲の家並みは様変わりするが、櫻田神社の佇まいは同じだ。上から昭和34年(1959)、平成18年(2006)、令和4年(2022)
※昭和34年(1959)、平成18年(2006) 港区教育委員会発行「写された港区三(麻布地区編)」より「港区立郷土歴史館」所蔵



手



父、佐々木修氏。写真の装束は、義修氏が受け継ぎ、今も大切にしている

事。そして自分の解釈を加えて、案内をしている。

「宮司になれば、私で恐らく36代目です。戦災で文献資料はほとんどが焼けてしまい、残っていませんが、今あるものでの勉強はしています」。街歩きを通じて、街の魅力も発信していきたいと考えている。

「自分が背負わせて頂いているものは長く、古い。先祖から受け継いだもの、全ての**氏子***6・崇敬者・地域の方が受け継いだ歴史も含めて、後世に残していくのが務めだと思っています」。

そのベースは街と考えている。街を歩き、見つめ直し、歴史を調べ、街の人たちに寄り添うことができたらと、義修さんの夢は大きく広がっている。

取材を通じて、佐々木さんの理路整然としたわかりやすい受け答えに、一同びっくりしました。28歳の若さで、自分の住む街のこれからを考えながら、前向きに歩む姿は、とても好印象でした。



消防団の一員としても、積極的に活動している



街歩きのナビゲーターとしても活躍中

*1 櫻田神社 治承四年(1180)源頼朝の令により霞山櫻田明神として霞ヶ関櫻田門外に鎮座。寛永元年(1624)には現在の場所に遷られた。文治五年(1189)頼朝公が30貫の田畑を寄進、一般農家の田と区別するため、御神田の畔に桜を植えたのが「桜田」の由来という。(東京都神社庁 HPより)

*2 禰宜 宮司を補佐する神職
*3 宮司 神社に仕え、祭祀、祈禱、庶務などをつかさどる神職
*4 *5 直階 明階 神職になる資格のひとつで、神社本庁が認定する5段階の階位。直階→権正階→正階→明階→最高位は浄階
*6 氏子 同じ土地で同じ氏神を守る人々
*2、*3、*6 (大修館書店刊 明鏡国語辞典より)

●協力 櫻田神社 港区西麻布3-2-17



ご近所だけど
ちょっと
遠い存在…?

麻布台・東京アメリカンクラブを訪ねて

麻布台にある会員制の東京アメリカンクラブ。普段はなかなか接する機会がなく、どんなことをしているか気になる存在ではないでしょうか？ 実は年に数回、チャリティセールで一般開放がされています。今回はチャリティ活動を運営するコネクションズの活動とセールの様子をご紹介します。

東京アメリカンクラブ、コネクションズとは

1928(昭和3)年5月23日に設立した会員制の国際社交クラブで、現在はアメリカ・日本を中心に50カ国以上、3,800人の会員と12,000人以上の家族会員が所属しています。



代表のオリビア・スミスさん

コネクションズはクラブ内にある非営利団体で、1949年に発足した会員の婦人会を元に70年以上活動しています。「当時は編み物から始まった活動ですが、現在では会員向けに日本の文化を知る講座やツアー、来日間もない会員への買物や医療などの日常生活や緊急事態へのレクチャー、料理・語学教室、交流イベントなどを主催しています。2019年にはもっと広く会員を受け入れたいという想いから、名称を『コネクションズ』に変更しました。現在は男性70人・女性430人の会員がおり、日本国籍の方40%、日本以外の国籍の方60%となっています」と、代表のオリビア・スミスさん。ロゴマークのデザインも手掛けています。



水引をモチーフに、3つのC (Charity・Culture・Community) を表現する
素敵なデザインです

会員にコネクションズへの参加のきっかけをお聞きすると、ドッグサポートや東京の魅力を伝えるイベントへの参加、英語のスキルアップ、チャリティ活動など実に様々でしたが、生まれた場所も年齢も異なる皆さんが、「この地で想いを一つにできる家族のような友人関係を持ってとても楽しい」とお話をされていたこともとても印象的でした。

コネクションズの活動と想い

コネクションズでは特にチャリティに力を入れています。担当のラフオーネ・里奈さんに伺うと「日本国内の公的機関・行政の補助では対応しきれない社会問題に対し、子ども・女性・ローカルをテーマに、福島被災地、DV対



チャリティ担当のラフオーネ・里奈さん

策、子ども食堂や、時代に沿った課題として保護動物ケアやホームレス支援など、小さくても困っているたくさんの方を助けたいと思っています。また、日本語が話せず個人ではボランティアが出来ない会員でも、コネクションズを通して地域の人と繋がることができることも良い点です」と熱意のこもった声でお話頂きました。

また、チャリティ担当のガブリエル・カーシュナーさんにチャリティセールについてお聞きしました。「開催の半年前から業者を選定し、当日のコネクションズブースでの販売・会計業務までをボランティアで行います。昨年は3日間で1,000名以上が来場して1,700万円以上を売り上げ、全体の利益の20%を支援団体に寄付することができました。11月に開催する国際セールでは、約50業者によるクリスマス向けのギフトや小物を販売しています。次回は2022年11月に一般開放して開催予定ですので、麻布地域のたくさんの方に来て頂けると嬉しいです」と説明してくださいました。

そして2021(令和3)年7月には東京ア

メリカンクラブでイベントホールを無料開放して、港区の1回目・2回目のワクチン接種を実施しました。「コミュニティを助けたい」という想いから、コネクションズもボランティアで運営に参加しました。週5日、2カ月間に渡り、医療従事者150人の確保、シフト調整などを行い、約3万人に2回接種ができました。特に、医師の確保は困難で、通常ワクチン接種業務には参加していなかった大学病院の医師や地元の開業医・歯科医師など、コネクションズ



チャリティ担当のガブリエル・カーシュナーさん

が直接お声掛けすることで、休日返上で参加してくださいました。大変な状況下であっても私たちの身近なところでサポートをして頂いたことを知り、感謝と親近感を感じずにいられませんでした。

お話をお伺いして、今まで遠い存在と思っていた皆さんと地域との『コネクションズ＝繋がり』を通してとても身近に感じることができました。私達も良き隣人・友人として共に地域の手助けが出来たらと思える出逢いでした。

チャリティセール『Decor!』に行ってきました！



きらびやかなホールには所狭しと商品がびっしり。まるで美術館のようです



古地図はとて人気があります

実は着物を染める型紙
お土産で買う人も多いです

注釈は英語で書かれていて、
海外の市場に来たようです



来場者も真剣に見入っています

2022年4月10日・11日に開催されたチャリティセール『Decor!』にお邪魔しました。元々は来日した会員がアジアの家具をお土産にするための販売会でしたが、今回は20以上の業者が現代日本絵画、古地図、包丁、陶磁器、骨董品などを販売しています。日本伝統の品々は海外の方だけでなく、日本人としても目を輝かせてしまうものばかりでした。

クラブの他の委員会と協力して、以前イベントでお世話になった土湯温泉が震災に遭い、復興のための寄付をしているそうです。「なぜこけし……」と思ってしまいましたが、実はこけしの木の肌触りや、優しい古風な日本の顔立ちが海外ではインテリアとしてとても人気が高いそうです。海外から見た日本を再発見出来ました。



コネクションズのみなさんも大活躍！

次回のスケジュール
『インターナショナルセール』
2022年11月7日(月)・8日(火)／一般公開
詳細はHPでご確認ください。

● <https://www.tokyoamericanclub.org/index.php/en/connections>
(セールの詳細は9月以降に掲載予定です)

麻布 毛利庭園

未来写真館

（ルーツは江戸時代）

六本木ヒルズのビルの谷間にあらわれる水と緑の潤い豊かな毛利庭園。現在の姿は19年前の森ビルによる六本木六丁目再開発の折りに造られたものだが、この地の前史を垣間見れば江戸時代以来の多彩なエピソードが浮かび上がってくる。



令和4年4月の毛利庭園。都会的な空間と自然が織りなす風景はいかにも麻布らしい。

毛利家の上屋敷があった

現在毛利庭園のある場所は、江戸時代には長府藩毛利家の上屋敷地の一部だった。毛利元就の孫で分家筋の甲斐守秀元が、寛永17年(1640)に屋敷地を拝領。その歴史は幕末、元治元年(1864)に収公されるまでと長きにわたる。地形を生かし、南側斜面の台形の敷地を造成して高台に御殿を、台地下に庭園及び池を整備した。池への流路がないことから、湧水が豊かだったと思われる。なお当時からこの付近は「麻布北日ヶ窪町」と称されていた。

この時代のエピソードを2つ挙げておこう。何といっても鮮烈なのは、元禄15年(1702)の赤穂藩士による吉良邸討ち入りにまつわる話だ。当主毛利綱元の元にも藩士の御預けがあり、10名が日ヶ窪の上屋敷へ収容され庭で本懐を遂げた。また嘉永2年(1849)には後の陸軍大将乃木希典が、長府藩氏乃木希次の子として藩邸内の長屋で誕生する。赤穂藩士を崇拝していた父は息子を連れて毎月の命日に泉岳寺に詣でたという。後年、大正8年(1919)4月に「乃木大将誕生地」、昭和18年(1943)3月には「毛利甲斐守邸跡」(2 3)として旧跡に指定された(現在東京都指定旧跡)。



庭園内の小道に赤穂藩士のエピソードを記した説明板がある。

明治時代は法曹界大物の邸宅に

法律学者で英吉利法律学校(現在の中央大学)を創始した一人、増島六一郎氏が当地を自邸として入手したのは明治20年(1887)のこと。増島氏も赤穂藩士、乃木大将を敬い、晩年の大将とこの地で邂逅する。庭を「芳暉園」と名付け、池を囲むようにして本宅とその対岸に英米の法律学書籍を収めた「正求律書院」を建設した。昭和2年(1927)当時の配置を表した図(4)があり興味深い。この書院は実について再開発前まで存在し、蔵書は「正求堂文庫」として現在、最高裁判所に寄託されているという。

ニッカウキスキー東京工場となる

昭和26年(1951)、増島邸旧地をニッカウキスキー株式会社創始者の竹鶴政孝氏が取得する。大正時代に日本初の本格的なウィスキーを作ることを望み単身でスコットランドに渡り、成就した人である。会社は北海道積丹半島の余市町に設立したが、事業拡大のため関東圏での拠点としてこの麻布の地に工場を建設した(5)。竹鶴氏もまた赤穂藩士や乃木大将などの様々な物語があるこの場所を大切に思い、あそこは由緒ある池で必ず主がいるに違いないとして、池を埋めることを決して許さなかったという。池にはじゅんさいが群生し、井戸を掘ってウィスキーのブレンドにも使用したというくらい水がきれいだった。



昭和2年当時の増島邸内の様子。敷地内の建物を南米3国とスイスの公使館として提供していたこともわかる。「長門長府藩毛利家屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅱ 2004」より

テレビ朝日時代から再開発まで

そして昭和52年(1977)には全国朝日放送株式会社がこの地を所有する。1960年代以降、一帯は麻布北日ヶ窪町をはじめとする旧町が統合、名称も改正され「六本木六丁目」となった。ニッカ時代に植樹されたソメイヨシノが見事に成長し(6)、春には開放されて近隣住民がお花見を楽しんだ。そして昭和の終わりに再開発の話が持ち上がった際、この池と桜の樹がなくなることを心配した住民から署名活動が始まる。その趣旨は採択され、池を含む庭園の再整備がなされて現在の景観が形づくられた。

初夏の散策には何とも心地よい毛利庭園。池のほとりを歩いてみれば、この地を愛おしむ人たちの魂が時空を超え語りかけてくる気がする。



昭和27年竣工時のニッカウキスキー東京工場。(写真提供/ニッカウキスキー株式会社)



平成7年(1995)、テレビ朝日所有の時、通称「ニッカ池」と呼ばれた。記憶する方も多いのでは。「麻布未来写真館 活動の記録(平成21年度～平成26年度)」より

●参考文献
『麻布區史』(東京市麻布區役所 1941) 『元禄十五年』(澁澤青花(教養社 1944) 『長門長府藩毛利家屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅱ 2004』(港区教育委員会事務局 六本木六丁目地区市街地再開発組合 港区遺跡調査事務局 『増補 港区近代沿革図集 麻布・六本木』(港区立港郷土資料館 2010) 『父・マッサンの遺言』(竹鶴孝太郎【監修】(KADOKAWA 2014)



「麻布未来写真館」とは

麻布地区総合支所では、地域への共感や愛着を深めていただくため、麻布地区の歴史やまちの移り変わりを記録、保存、継承する活動を行っています。

麻布地区の定点写真の撮影、昔の写真の収集等については、港区在住、在勤、在学者で構成された区民参画組織「麻布を語る会 麻布未来写真館分科会」が主体となって活動しています。まちの歴史や文化を多くの方々にご紹介いただけるよう収集した写真をパネルとして港区ホームページや展示会で紹介していますのでぜひご覧ください。

「麻布未来写真館」では、古い写真を探しています!

明治から昭和にかけての麻布地区の建物や風景、お祭りなどの写真を募集しています。詳しくは、港区麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当までご連絡ください。

お問合せ 電話:03-5114-8812



麻布の外周を歩く②

麻布地区の外周を、境界線に注目しながら一周するこの企画。第2回目は、天現寺橋から一之橋迄、古川沿いを歩きます。現在は古川が麻布と他地区との境界線ですが、川の両岸が麻布という時代もあったのです。【約2.3km】

古川の歴史

明治8(1875)年頃、青山八郎右衛門という人物が古川沿岸湿地帯の開拓を始め、天現寺橋から一之橋迄の両岸に細長く広がる新しい土地を生み出しました。彼はこの土地の地券*に「八郎右衛門新田」の記載を得たのち、「八郎右衛門」を正式な町名にして欲しいと東京府知事に願い出ます。「明治3(1870)年、横浜の鉄道敷設に際して埋立てた土地は、埋立作業請負人である高島嘉右衛門の名前を採って「高島町」と命名された。自分が開拓した土地も同様に」という論法で。結局この細長い町の名は、明治44(1911)年に「新広尾町」と定められるのですが、「八郎右衛門新田」は字名として一定期間使用されたようで、明治20(1887)年に内務省地理局が作成した地図にもその名が記されています。

さて、横浜「高島町」の由来となった高島嘉右衛門は、幅広い分野で活躍した実業家であり、「高島易断」を著した易者としても有名ですが、土木事業は養嗣子の高島嘉兵衛に任せていたといわれています。その嘉兵衛は、明治38(1905)年に「古川改修工事延期願」を東京府に提出しており、明治末期には新広尾町に約6千坪の土地を保有しています(これは青山八郎右衛門とその家族の所有地約7千坪に次ぐ広さ)。古川沿岸の工事には嘉兵衛も関与していたようです。

尚、随筆家白洲正子の骨董の師匠として有名な美術評論家の青山二郎は、八郎右衛門の子孫(青山家は代々八郎右衛門を襲名)。二郎の評伝には、一之橋の角にあった実家で過ごした少年時代から、高速道路開通に伴い土地を手放すまでの興味深いエピソードが満載です。

*明治政府が土地所有者に交付した証券



『昭和35年地図(新港区区史付図)に古川流路を着色



1 狸橋上からの眺めと川面の水鳥



START

亀屋橋の車止めには亀マーク



2



3

高架下賃貸施設



4 ツインーの橋

古川の今

今回のコースには、狸橋、亀屋橋②、養老橋、五之橋、白金公園橋、四之橋、新古川橋、古川橋、三之橋、南麻布一丁目児童遊園橋、二之橋、小山橋、一之橋と13の橋が架かり、それぞれ個性的な姿が楽しめます。

狸橋と亀屋橋の上には空が広がり、静かな川面には水鳥の姿も①。

亀屋橋から下流は川の上を高速道路が走ります。現在は高架下沿道整備中で、金網フェンスやシートで覆われた姿となっていますが、沿道には親水公園や休憩スポットもあり、植栽に心とみます。

古川橋対岸や小山橋対岸では大規模再開発が進み、沿岸の景色が変わってゆくなか、昭和の高度成長期を物語る建築物もあります。その一つ、亀屋橋から古川橋迄の高架下に建ち並ぶ店舗街は、道路建設前からこの地で営業していた者の為に昭和40(1965)年に設置され、現在も使用されている賃貸施設③。また、麻布十番4丁目の「ツインーの橋」は、昭和34(1959)年の住宅公団による分譲で、現存する大規模マンションとしては港区最古の部類です④。木造平屋が一般的だった当時、11階建てビルの出現に人々はどれほど驚き惚れたことでしょう。

古川のこれから

川の両岸に細長く広がる「新広尾町」は、昭和40年代の住居表示実施に伴い消滅しましたが、歴史を知れば、麻布十番駅の近くに「新広尾公園」(昭和35年開園)があることも納得ですね⑤。港区内の路上にある区設掲示板の左上にも旧町名が記載されています。散歩の途中で「新広尾町」の名前を見つける機会はこれからもありそうです。



5

ここは 白金五丁目1番 昔は麻布、今は白金



●参考文献
 東京都公文書館所蔵「麻布区麻布広尾町の内字八郎右衛門新田持主青山八郎右衛門より土地字の件に付願」請求番号611.A2.02、同「古川改修工事延期許可」請求番号626.A4.13
 松田裕之『高島嘉右衛門 横浜政商の実業史』2012,日本経済評論社
 東京市区調査会『東京市及接続郡地籍台帳』1912
 宇野千代『青山二郎の話』2004,中公文庫
 首都高速道路公団『首都高速道路公団30年史』1989



麻布地区
地域事業

令和4年5月15日 麻布地区総合支所地域事業・ミナヨク発 『みないろ』が開催されました！



「みないろ」とは

麻布地区総合支所が行っている地域事業「ミナヨク」から旗揚げをし、「麻布をアートの街に」というコンセプトのイベントです。

「みないろ」の企画・運営

「チームみないろ」は千葉工業大学創造工学部デザイン科学科に所属する3年3人を中心に企画し、ミナヨクサポーターの方々や六本木龍和会（龍土町会青年会）のご協力のもと実施しました。

開催の意図

「みないろ」は子どもたちにコロナ禍でたまったストレスを発散して欲しいという思いや、麻布を好きになって欲しいという思いで開催しました。



アピールポイント

このイベントの特徴は主に3つあります。

- 1 街歩きの際、子どもたちに街中で見つけた○△□をテーマに写真を撮ってもらいました。抽象的なテーマを出す事で、普段歩いているだけでは気づかない街の魅力に気づいてもらう
- 2 子どもたちの思うままに白い模造紙にペイントをしてもらうことで、子どもたちが考える街の色や自分達の色を表現してもらう
- 3 Tシャツなどの汚れを気にしないで絵具を使うという非日常の体験をしてほしい



当日の様子

当日は、12組の親子が街歩きをして写真を撮ってもらった後に、六本木西公園にてペイントをしてもらいました。

街歩きでは、子ども達が歩くごとに○△□を見つけに来て、長時間かけてじっくり歩きましたが、普段足を止めないようなところでも足を止めてみたり、飽きる事なく楽しんでお題を探してくれました。また、ペイントではみないろのロゴをスタンプした白Tシャツに着替えて実施しました。学生スタッフとともににはしゃいでTシャツも模造紙も、沢山のいろに染まりました。

子どもたちと関わる機会はとても貴重で、地域イベントとして開催する事ができたこと、とても嬉しく思います。参加者の方々や、学生スタッフからも好評の声をいただく事ができ、特別な1日となりました。



令和4年度「ミナヨク」のお知らせ

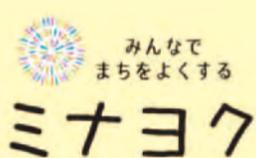
地域に愛着を持って地域活動を行う「地域サポーター」として活躍できる人財を発掘・育成し、新しい地域のつながりを構築していくことを目的とした事業です。令和4年度は9月から、全7日間の少人数制プログラムを実施します。仲間とのアイデア出しやフィールドワークを通じて、地域の活性化に取り組む方を募集します。

開催日程(予定)

Day1	9月24日(土)	13:30 ~ 16:30	概要説明・自己紹介 過去の企画紹介
Day2	10月1日(土)	13:30 ~ 16:30	活動の体験・学習 ディスカッション
Day3	10月15日(土)	13:30 ~ 16:30	活動の体験・学習 ディスカッション
Day4	10月29日(土)	13:00 ~ 17:00	想い・企画案の発表 チームづくり
Day5	11月12日(土)	13:00 ~ 17:00	企画の骨子づくり 講師との相談
Day6	11月26日(土)	13:00 ~ 17:00	企画詳細化、実証計画 講師との相談
Day7	12月17日(土)	13:00 ~ 17:00	企画内容、実施計画の発表、 アドバイス

※7日間のプログラム終了後、追加講座を実施する場合があります。

事前説明会



ミナヨクの取り組みを紹介するとともに、みなさまの質問にもお答えします。事前申し込みは不要です。ご興味のある方、参加を迷っている方、どなたでもご参加ください。

日時 令和4年9月10日(土) 14:00 ~ 15:30

内容 事業概要、修了生との対話、質疑

会場 麻布区民協働スペース(麻布保育園3F)
港区六本木5-16-46



昨年度の取組

令和3年度は、約14名のメンバーで、11月から3月にかけて、全7日間の活動を行い、2つのアイデアが生まれました。

- ①麻布とつながるきっかけをみんなで創り出す「麻布FANクラブ」
- ②麻布在住の子ども向けアートワークショップ「みないろ」

アイデア①



アイデア②



1 アイデアを生む



2 アイデアを試す



3 地域に根付く



会場 麻布区民協働スペース

対象 麻布のまちの活性化やコミュニティデザインに興味・関心のある方
地域活動に参加したい方

定員 20名程度

※応募多数の場合、抽選とさせていただきます。

参加費 無料

応募方法 以下のいずれかの方法でお申込みください。

①区HP応募フォーム

②参加申込書をご記入のうえ、郵送してください。

(麻布地区総合支所協働推進課でも配布しています。)

応募期間 令和4年8月8日(月)～9月16日(金)まで

お問合せ/麻布地区総合支所協働推進課地区政策担当

電話/03-5114-8812



▲これまでの活動や
応募フォーム、
参加申し込み書
ダウンロードはこちら

港区麻布地区総合支所だより



港区住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業 ～家計急変世帯に10万円を支給します～

申請できる世帯

令和4年1月以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少し、令和4年度分の住民税均等割が課されている世帯員全員のそれぞれの年間収入見込額又は年間所得見込額が、住民税均等割非課税相当水準以下の世帯の方



申請方法

対象の方は、申請書類等を郵便でご送付いただきます。申請書類等は港区ホームページでダウンロードが可能なほか、各総合支所区民課(麻布地区総合支所は2階の港区生活・就労支援センター)でも配布しています。

◆申請期限/令和4年9月30日(金)
(消印有効)

申請できる世帯や、申請方法等の詳細はこちらをご覧ください。



相談窓口を開設しています

お持ちいただいた申請書類等の内容確認や記入方法の補助、対象者に該当するか等の相談を受け付けます。

◆場所/港区役所5階514会議室

◆受付時間/午前9時～午後5時まで(土曜、日曜、祝日は除く)

お問合せ/港区住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金コールセンター
電話番号/0120-352-652
営業時間/午前8時30分～午後5時まで(土曜、日曜、祝日は除く)

都税事務所からのお知らせ

令和4年度の固定資産税・都市計画税の軽減措置についてお知らせします(23区内)

- ①商業地等に対する固定資産税・都市計画税の負担水準の上限引下げ減額措置
 - ②小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置
 - ③小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置
 - ④税額が前年度の1.1倍を超える住宅用地等に対する固定資産税の減額措置
 - ⑤耐震化のための建替え又は改修を行った住宅に対する固定資産税・都市計画税の減免措置については、令和4年度も継続します。
- (④については令和5年度まで、⑤については令和5年度末まで延長)
詳細は、HPまたは下記問合せ先へ

お問合せ/港区にある物件について
港都税事務所
電話/03-5549-3800(代表)



耐震化のための建替え又は改修を行った住宅(一定の要件を満たすもの)に対する固定資産税・都市計画税を減免します(23区内)

減免の期間と額は、以下のとおり

建替え 新築後新たに課税される年度から3年度分について全額減免(居住部分に限る)。ただし、減免の対象となる戸数は、建替え前の家屋により異なる。

改修 改修工事完了日の翌年度分から一定期間、居住部分で1戸あたり120㎡の床面積相当分まで耐震減額適用後の税額を全額減免。

減免を受けるには申請が必要です。
詳細は、HPまたは下記問合せ先へ。

お問合せ/港区にある物件について
港都税事務所
電話/03-5549-3800(代表)



都税に関する各種証明の申請には電子申請をご活用ください

ご自宅やオフィスのパソコンから、証明の申請・手数料納付が可能です。是非ご利用ください。

申請可能な証明の種類、詳細な手続Q&Aについては、主税局HPをご確認ください。



主税局HP

太陽光発電システムを設置した東京ゼロエミ住宅に対する不動産取得税を減免します(23区内)

減免の対象と額は以下のとおり

減免の対象 一定の要件を満たす新築の東京ゼロエミ住宅

減免税額 最大で住宅に係る不動産取得税の10割減免を受けるには申請が必要です。また、この他にも耐震化促進税制等、住宅を新築したときに軽減を受けられる場合があります。

詳細は、東京都主税局HPをご覧ください。か下記問合せ先へ。

お問合せ/港区にある物件について
港都税事務所
電話/03-5549-3800(代表)



主税局HP



環境局HP

買い物するなら地元の商店街で

ザ・AZABUへのご意見・ご要望をお寄せください

住所・氏名・職業(学校名)・電話番号・ご意見・ご要望(日本語又は英語、字数・様式自由)を書いて、直接又は郵送・ファックスで、〒106-8515 港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当へ。

●電話/03-5114-8812 ●FAX/03-3583-3782

地域情報紙「ザ・AZABU」はホームページからもご覧いただけます。

「ザ・AZABU」は英語版も4カ月後に発行しています。



ザ・AZABU

Staff
出石 侑子
おおばまりか
加生 美佐保
Mai S.
高柳 由紀子
田中 亜紀
田中 康寛
冨田 弥生

奈良 美枝
畑中 みな子
樋口 政則
堀内 明子
堀切 道子
武藤 佳菜
八巻 綾子

編集後記

六本木ヒルズのほぼ向かいに鎮座している櫻田神社、沖田総司ゆかりの神社としても知られております。神社の鳥居をくぐると六本木の喧騒から穏やかな静寂が広がり、ゆっくりお参りできます。今回取材を通し、櫻田神社の若き神職・佐々木さんが神社を守り、町のために活動する真摯な思いに感じ入り、ますます町のために活躍の場を広げ尽力されていかれるのだと思いました。これからも櫻田神社は変わりゆく六本木の町を見守り続けてくれることでしょう。(堀切道子)

「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽に問合せください。年中無休/午前8時～午後8時 ※英語での対応もいたします。

電話/03-5472-3710 FAX/03-5777-8752

お問合せフォーム/ <https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/iken/form.html>

「Minato Call」 information service
Minato call is a city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.

Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752;

Inquiry submission form: <https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/iken/form-inquiry.html>

●配布設置場所ご案内
六本木一丁目、六本木、広尾、麻布十番、赤羽橋の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書館、南麻布・ありす・麻布・西麻布・飯倉の各いきいきプラザ、麻布区民センター、麻布地区総合支所等
●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。